

製品名: ヒドロキシルヒストン H2A (Tyr39) ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号:** APRab00686

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	ヒドロキシル化
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	リン酸緩衝生理食塩水中のウサギ IgG、pH 7.4、150mM NaCl、0.02%アジ化ナトリウムおよび50%グリセロール。
精製	アフィニティークロマトグラフィー

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:1000,IHC 1:50-1:100
分子量	Calculated MW: 14 kDa; Observed MW: 14 kDa

抗原情報

遺伝子名	H2AC4 H2A.1; H2A/c; H2A1; H2AFC; H2AFD; H2AFI; H2AFN; H2AFP; HIST1H2AG; HIST1H2AI;
別名	HIST1H2AK; HIST1H2AL; HIST1H2AM; histone cluster 1; H2ai; Histone H2A type 1; Histone H2A/p
遺伝子 ID	3012
SwissProt ID	P04908
免疫原	標的タンパク質の残基に対応する合成ヒドロキシル化ペプチド

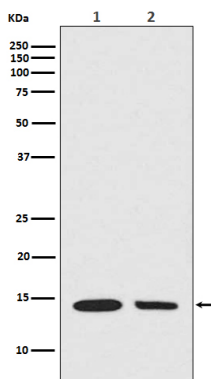
背景

ヌクレオソームの中核構成要素。ヌクレオソームはDNAをクロマチンに包み込み、DNAを鋳型として利用する細胞機構へのDNAのアクセスを制限します。そのため、ヒストンは転写制御、DNA修復、DNA複製、そして染色体の安定性において中心的な役割を果たします。DNAへのアクセスは、ヒストンの複雑な翻訳後修飾（ヒストンコードとも呼ばれます）とヌクレオソームリモデリングによって制御されています。

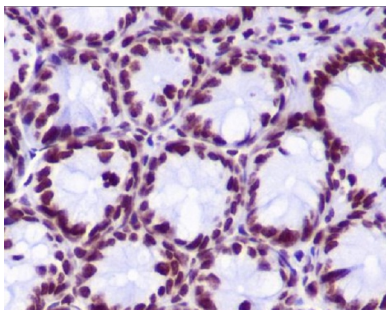
研究分野

エピジェネティクスと核シグナル伝達

画像データ



(1) NIH/3T3 溶解物、(2) ヒドロキシルヒストン H2A (Tyr39) 抗体を使用した A549 溶解物中のカルレティキュリンのウエスタンブロット分析。



ヒストン H2A (ヒドロキシル-Y39) 抗体を使用したパラフィン包埋マウス結腸の免疫組織化学分析。抗原賦活化には高圧高温クエン酸ナトリウム pH 6.0 を使用しました。